

■千代田区都市計画マスタープラン【改定素案骨子（第1～3章）】への指摘事項（主な検討課題）

2018.01.24
都市計画審議会

2018.02.18
改定検討部会

資料2-2

第1章 千代田区の概況

まちづくりの系譜

江戸のまち ～千代田区のルーツ～

日本橋より以前の
江戸のはじまりを示す

明治：帝都東京の建設と都市の近代化

大正～昭和：
震災・戦災からの二度の復興と高度経済成長

昭和後期～平成：
急激な業務地化とそこからの回復、都市再生の進展

都心・千代田の魅力・価値

首都東京の風格・文化と創造性・活力が調和している
豊かな都心環境、利便性に恵まれ、多様性が育まれている
環境、災害対応面で先駆的チャレンジが展開されている

約20年間のまちづくりの成果・論点

都市生活の観点からも配
慮して、人口動向について
の示し方を検討

【成果】

- ◇居住機能の確保による定住人口の回復
- ◇鉄道駅及び周辺の整備の進展
- ◇国際的な中枢業務拠点の再生と都心機能の多様化
- ◇開発と連動した防災性の向上と環境・エネルギー等の都市基盤の充実
- ◇千代田区から発信する社会実験やエリアマネジメントの発展

【今後の主な論点】

- ◇人口構成の変化やまち・ひとの多様性を受け入れ、活かしていくまち・コミュニティ・都心居住のあり方（住宅の量⇒まちの質・多様性）
- ◇高齢化やまち・ひとの多様化のなかで、都心における様々な人々の活動・交流を活発にする都市機能のあり方
- ◇高齢化やまち・ひとの多様化のなかで、都心における様々な人々の活動・交流を活発にする都市機能のあり方
- ◇緑と水辺と高質で居心地のよい空間のつながりや維持管理・活用のあり方
- ◇江戸～首都東京の歴史のなかで育まれてきた個性ある境界の魅力や文化を活かしたまちの機能更新や価値創造のあり方
- ◇成熟時代のまちの課題解決に貢献する建築・開発の誘導（インセンティブ等）のあり方
- ◇首都東京における大規模災害の発生を想定した事前の備えと対応力・継続性のあり方
- ◇国際化や高齢化が進む中で、自動運転等の技術革新が進展する時代におけるモビリティや交通マネジメントのあり方、交通結節点のあり方
- ◇環境・エネルギーをはじめ、ICTを活かしたスマートな都市、デジタル空間と都市基盤のあり方

連携と共創
多様性のある人のエネルギーを使う
隣接区や地方都市の活力を活かし双方がよくなる
大学を社会でうまく使う

白書も踏まえて、骨太な方向性が見えるように再整理
第1章、第2章(土地利用)、第3章(分野別)、第4章(地域別)の関係性の整理

全体的なつながり、言葉の整理、そぎ落とす作業
視点から将来像、土地利用、分野を超えた「つなぐもの」へと続くストーリーをつくる

都市計画マスタープラン改定の視点

① 次世代への都心の価値の継承と創造・発展

都心・千代田ならではの魅力の進化

住宅・住環境整備の進化

視点 次世代の魅力ある「都心生活」

緑と水辺の整備の進化

視点 居心地のよい空間の多様性

景観づくりの進化

視点 都心の風格とまちの文脈がつなぐ
境界

世界都心を支える高度な社会基盤の進化

道路・交通体系整備の進化

視点 交通結節機能と移動ネットワーク

福祉のまちづくりの進化

視点 障壁のない多様な活動と交流環境

防災まちづくりの進化

視点 災害対応力（防災力・対応力・継続性）

復元力

環境と調和したまちづくりの進化

視点 ひと・モノ・情報をつなぐスマート
な都市基盤

② 都心の最適なマネジメント

建築・開発の規制・誘導の進化

建築・開発だけではない

土地利用の進化

視点 都市とまち・エリアのデザイン

まちづくりのエンジンの進化

まちづくりの実現の進化

視点 連携と共創、まちづくりのマネジ
メント

ステークホルダーを区民だけでなく、
仕事、通勤、通学者に広げる

第5章の具体化

電線類や上下水道など
地下の都市施設等の視点の追加

第2章 まちづくりの理念・将来像

理念 歴史に育まれた豊かな都心環境を次世代に継承し、世界の人に愛されるまち、千代田

2040年ごろの

千代田区のまちを考えるキーワード

先進性

多様性

強靱・持続可能性

将来像

つながる都心

分野別へのつながりが
わかるような工夫

歴史・文化がつながる

ひと・まち・コミュニティがつながる

未来・世界へとつながる

あらゆる情報でつながる



麹町・番町・富士見エリア
外濠・内濠に囲まれ、落ち着き・文化を感じられる住環境と住み続け、働き、活動する都心生活の豊かさが調和するエリア

神田・秋葉原・神保町エリア
江戸・下町の文化や個性ある境界の味わい、ひとと生業のつながりある複合市街地と秋葉原・万世橋の拠点

都心中枢エリア
首都・東京を牽引し、進化し続ける強靱な都心



都市骨格軸：環境創造軸／都市機能連携軸／エリア回遊軸 拠点：都心・千代田の象徴的拠点／国際ビジネス・文化交流拠点／高度機能創造・連携拠点／まちの魅力再生・創造拠点
個性ある境界 戦略的先導地域：番町一帯の地域／飯田橋駅に近接する地域／靖国通り沿道の地域／神田駅周辺～神田錦町一帯の地域／万世橋周辺の地域

土地利用の基本方針

都市・まち・エリアのトータルなデザイン

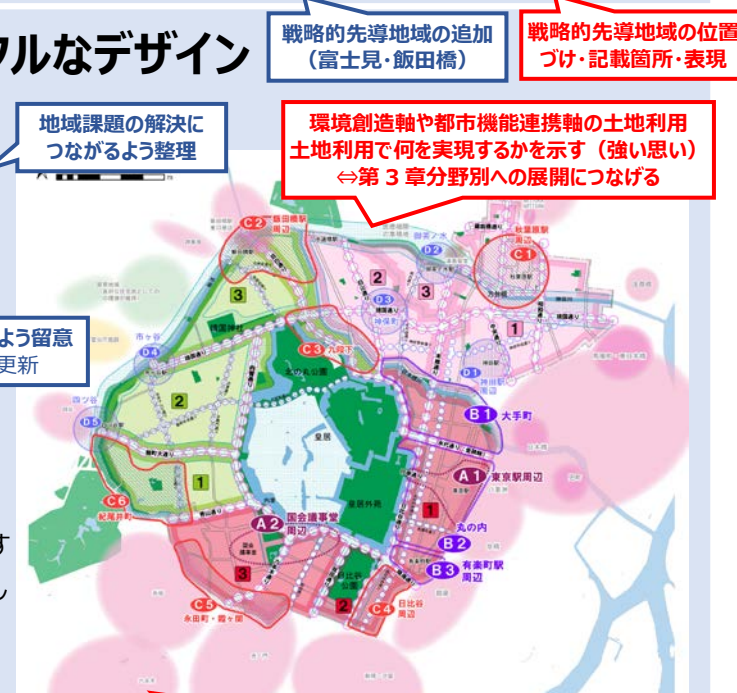
- 土地に宿る記憶、遺産、境界性と文化を熟成させ、まち・ひと・コミュニティの力に変えて、未来に伝える
- ひとが都心の主役となり、多種多様な活動の相乗効果と最適化で、都心の多様性を最大限に活かせるスマートなまちに進化していく
- 次世代が魅力・価値を感じる暮らし方、働き方、滞在、活動など、あらゆる場面でまち・コミュニティのイノベーションを誘発する

現行のマスタープランから重要な部分が欠落しないよう留意
(例) 地域の参加を得ながら…ゆっくりとまちを更新

1. 皇居を中心に、まちの個性が際立ち、相互に価値を高めあう骨格構造を形成していきます
2. 住みたくなる、永く住み続けたくなる都心の豊かな生活環境を充実させていきます
3. 大規模災害に備えて、まちの安全と機能の継続性を確保していきます
4. ひと、機能、空間の多様性と創造的な力を育む、都心の複合的な魅力を創造していきます
5. 都心の豊かな環境と多様な力を活かして、魅力ある街並みと心地よい空間を創出・活用していきます
6. 次世代のスマートな都心を支える高度な都市基盤を誘導していきます
7. エリアの特性・まちの文脈に沿った効果的なまちづくり手法・制度を活用していきます

リモートオフィスやテレワークで地方へのオフィス展開
丸の内のオフィスの変容の可能性

1～7の記載レベルを再整理



土地利用の基本方針がどこからつながっているか読みとれるストーリー

第3章 分野別まちづくりの目標と方針		分野を超えてつなぐものを明確にする、言葉のヒエラルキー、繋がり 「文化」「スマートシティ」「Society5.0」「ゼロエミッション」……」 ⇒ 分野への落とし込み、江戸時代からの地区性がある千代田区だからこそ、よりよいものを目指す	千代田区に住むうえでの情報発信のあり方 福祉につながるまえる様々な魅力をどう感じるか、情報共有、連携	国の住生活基本方針、住み替えの視点 単身者のシェアハウス、高齢者のリバースモーゲージなど
分野		まちづくりの目標	まちづくりの方針	
“分野別”の呼称の再考			各章のキーワードの精査 サードプレイス、プレイスメイキングは分野2へ、など	
シビックプライド まちに住まう視点		まちに住まう「幹」を明確にする + 公共空間、グリーンインフラ、 景観など都との連携		
分野1 豊かな都心生活を実現する 住環境の創出		都心生活の多面的な魅力の向上、 多様なスタイルでつながるまちとひとが 持続的・創造的なコミュニティを育てていく	1. 都心生活の新しい魅力を発見しながら、住まい方の多様なスタイル、住み続けられる環境を充実させていきます 2. 都心の多様な生活・活動が融合し、つながる“場”と“コミュニティ”を創造していきます （暮らし、祭、学び、交流、ビジネスなど） 3. 都心生活の環境を豊かにし、進化させる制度・手法を創造的に活用していきます	
オープンスペースの 言葉の再考 グリーンインフラ等		皇居を中心とする 豊かな緑と水辺のネットワークが拡がり、 居心地のよいオープンスペースが創出・連携され、 多様な人々が豊かに過ごしている	1. 豊かな緑と水辺の心地よさが際立つ都心環境を形成していきます 2. ひとの目線で都心の環境や回遊を楽しめる“空間”として、多彩なオープンスペース（※）の質と機能、連続性を高めています 3. 都心の楽しさ、居心地の良さを感じられるオープンスペースの創造的な活用と管理・運用を広げていきます 4. まちの多様な空間の価値を高められるよう、まち、ひとの力、制度・手法を戦略的に活用していきます	
分野3 都心の風格と景観、 界隈の魅力を創出・継承 するまちづくり		歴史と先進性が共存・融合する 都心の風格をより際立たせ、味わいや風情、 多様な生活と文化を感じられる界隈を伝えていく	1. 江戸城の遺構を骨格とした都心の象徴的な景観や眺望、風格ある街並みを継承し、楽しめるようにしていきます 2. 起伏のある地形やまちの個性を彩る界隈の要素、文化を活かした街並み、環境づくりを進めます 3. まちの文脈、個性、なりわいや文化のつながりを感じるまとまりあるエリアで、 都心の風格や界隈性を継承し、魅力を高めるための制度・手法を確立していきます	
分野4 道路・交通体系と 快適な移動環境の整備		都心の歩行者の移動をより快適で楽しくするしかけ や、多様な交通モードをつないで利便性の高い 交通結節機能を進化させていく	1. 拠点における地上・地下の交通結節機能を充実させていきます 2. 駅とまち、緑・水辺、界隈をつなぐ快適な移動空間・移動環境を創出していきます 3. まちやひと、都市活動の特性・課題に応じたブロックごとの最適な移動をマネジメントしていきます ▷ 多様でシームレスな移動ネットワーク ▷ 自動車交通と駐車場のマネジメント 4. まちの交通需要の変化や移動マネジメントの戦略に応じて、ひとの目線から道路空間の創造的な再編・活用を進めています ▷ 歩きやすいみち／使いやすいみち／おでかけが楽しいみち	
分野5 多様性を活かす ユニバーサルなまちづくり		都心ならではの豊かな価値の創造にむけて、 ひと、まち、活動の多様性を活かすことを重視して、 ユニバーサルな環境を広げていく	1. 拠点における交通結節機能を充実させていきます 2. 都心に滞在するひとが多様なスタイルでつながり、自分らしく、いきいきと活動・活躍できる環境をデザインしていきます 3. 子供の成長を応援し、高齢者が家庭や地域で長く、自分らしく暮らし続けられる環境を充実させていきます	
分野6 災害にしなやかに対応し、 回復力の高い強靱な まちづくり		大規模災害の発生を前提に、 都心に滞在する多くの人の生命、生活を守り、 首都機能・都心機能、都心生活の 継続性を高め、備えていく	1. 大規模災害に備えて、耐震性に優れ、強靱で代替性のある多重化されたライフラインを構築していきます 2. まちの特性を考慮しながら、高経年の建築物の更新や共同化、耐震性・耐火性の向上を進めています 3. 震災、浸水被害などの災害のタイプの違いに応じた 地下空間のリスクの低減対策、まちなかの避難等を阻害する要因の解消を進めています 4. 大規模災害発生直後の避難等の安全確保対策、 都心生活・都心機能・国家中枢機能の継続・早期復旧のための対策を進めています 5. 大規模災害からの創造的復興の道筋を事前に想定し、迅速・円滑に対応するための準備体制を整えています	
分野7 環境と調和した スマートなまちづくり		エネルギー利用を起点に、 移動、シェア、ひとのつながりへ、 次世代のスマートな都心の社会基盤を構築していく	1. 四季の変化を心地よく感じ、清潔で過ごしやすい都心の環境を守り、育てていきます 2. 都心の多様な生活と高度な都市活動とエネルギー利用、環境負荷低減と資源循環の最適化とマネジメントを行っていきます 3. 都心・千代田にふさわしいスマートな都心形成を目指すビジョンを確立し、具体の目標のもとに戦略を展開していきます	

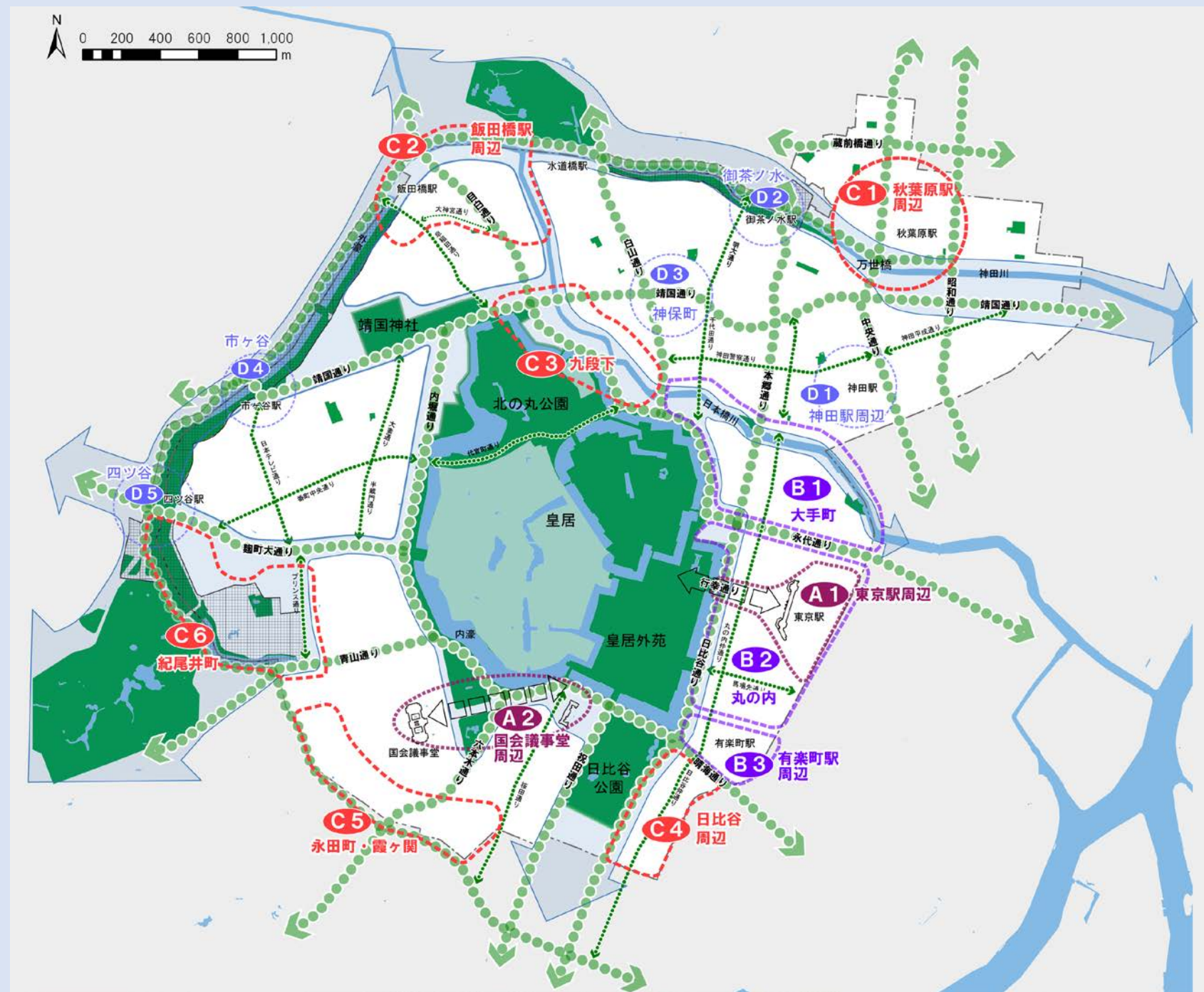
分野を超えた連携

分野を超えた“スマートシティ”から環境分野への落とし込み

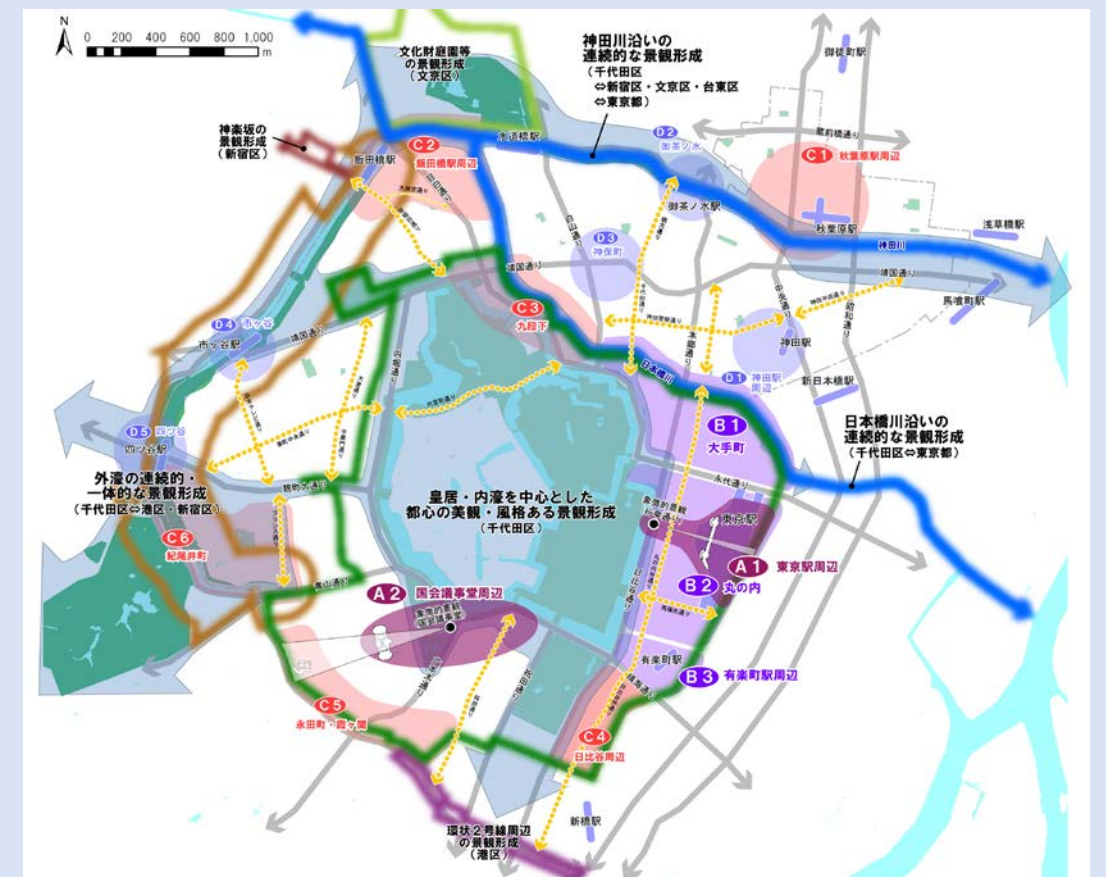
クールスポット、地域エネルギーデザインの方針への落とし込み

分野2との整合、連携

【分野2】 オープンスペースがつながり良質な空間の創出



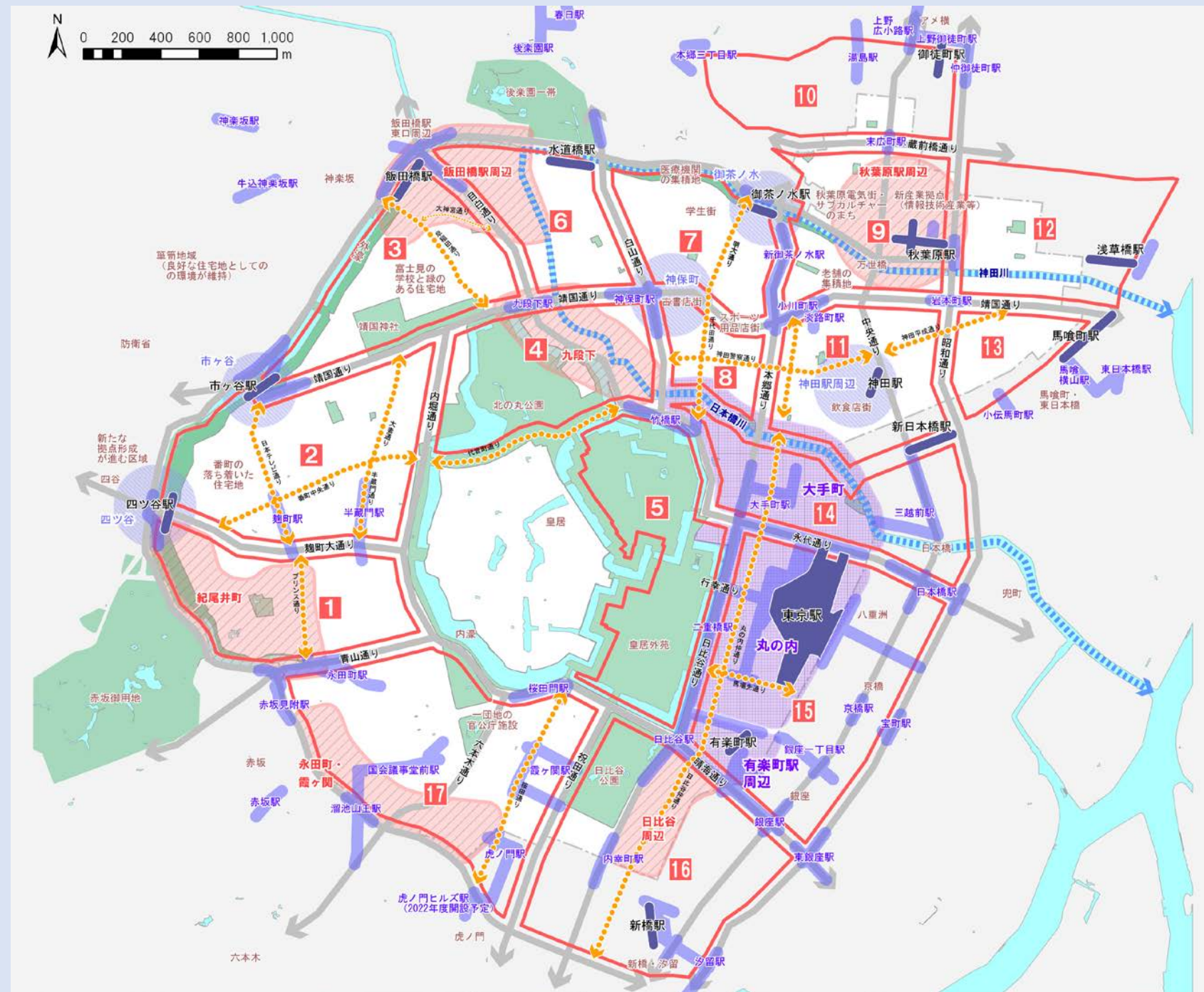
【分野3】 ① 周辺区と連携した 首都東京の都心の風格と景観形成



【分野3】 ② 地域、界隈の個性・魅力の継承と創造

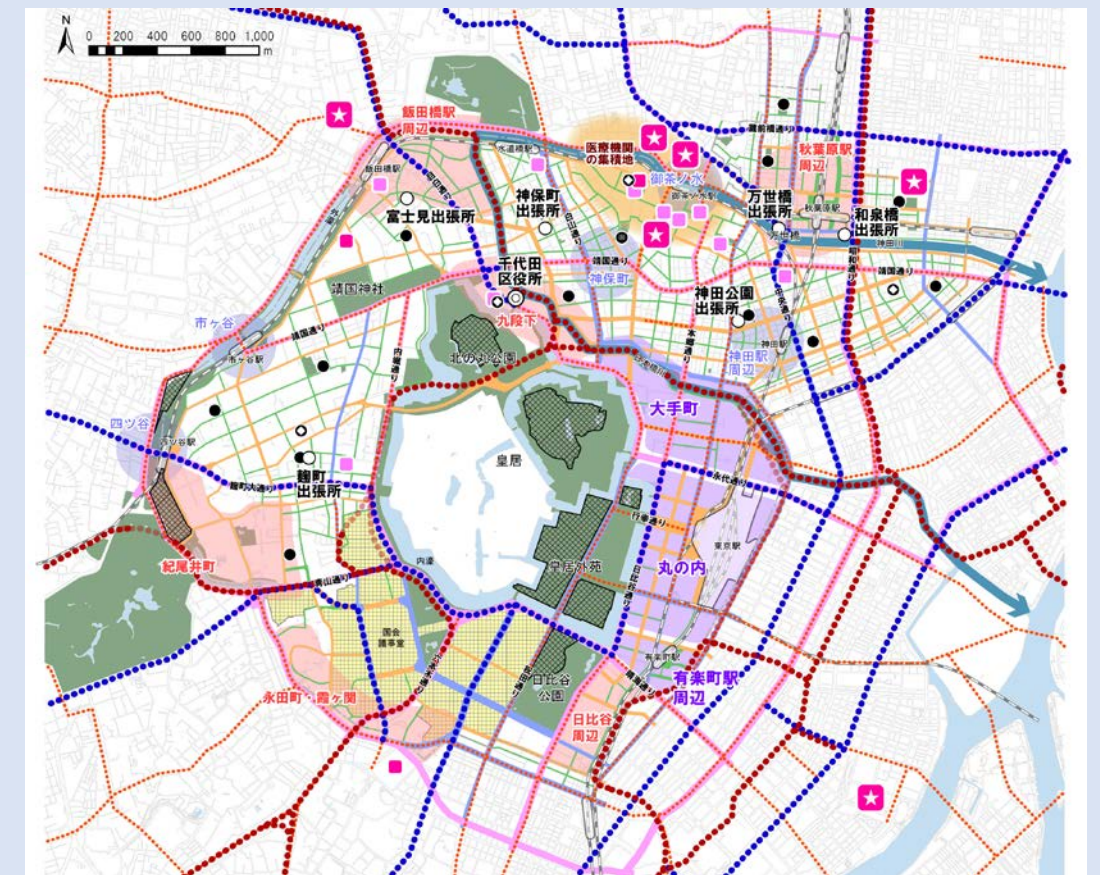


【分野4】 道路・交通体系と快適な移動環境の整備

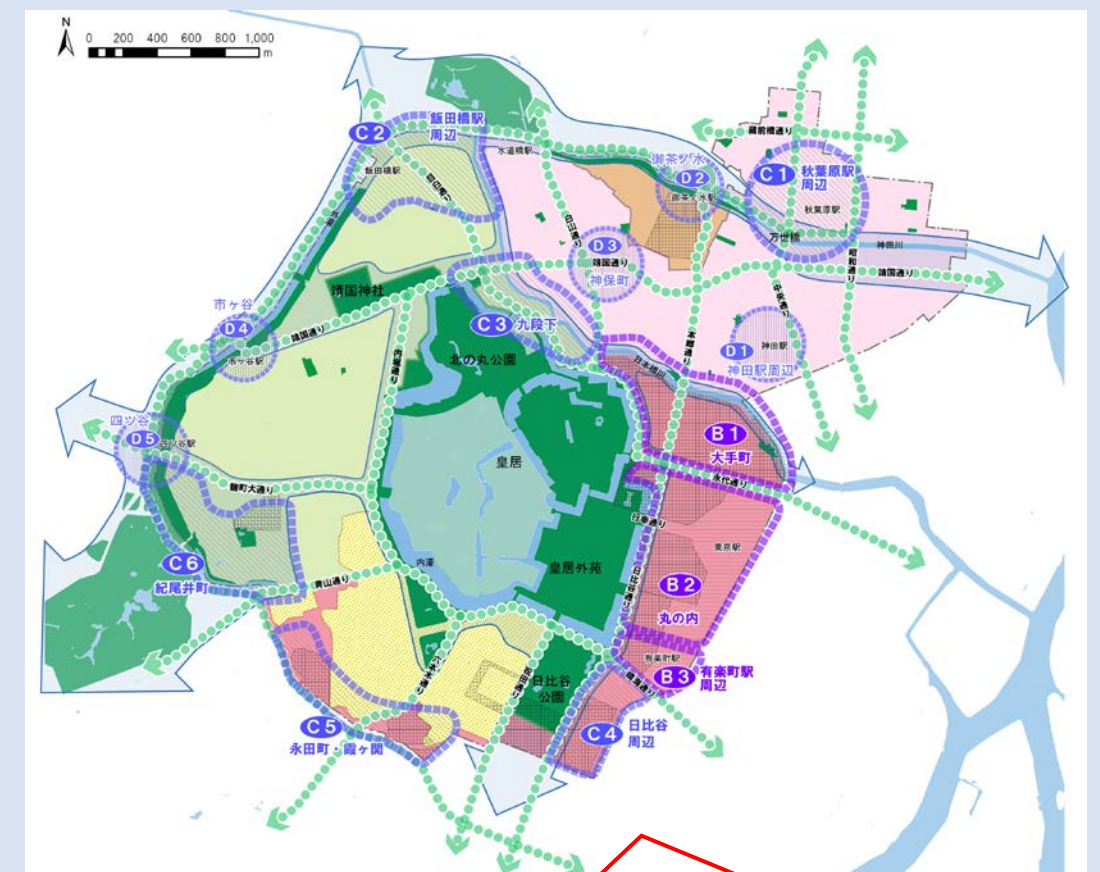


ブロックごとの移動マネジメントを図に落とすところで違和感が生じる
バス、鉄道等、ブロックを越えた移動ネットワークをどう表現するか

【分野6】 災害にしなやかに対応し、回復力の高い 強靱なまちづくり



【分野7】 都心の心地よい環境を基盤としたスマートなまちづくり



現状 + まちづくりの方向性を示す要素をどのように示せるか